

GD-400,400SS

直動式	パイロット式	ピストン	ダイヤフラム
ベローズ	内部検出	外部検出	ステンレス
ハンドル付	ストレーナ内蔵	微圧	遠隔
弁リーク0	JWWA	ナイロン	

■ 特 長

1. 圧力バランス方式を採用しています。
2. 最大減圧比が大きく、使用範囲が大幅に向上しました。
3. ダイヤフラムの有効受圧面積を大きくとってある為、設定圧力に対し精度が良好です。

■ 仕 様

型 式		GD-400	GD-400SS
呼 び 径		15~50A	
適 用 流 体		空気・窒素ガス ※1	
一 次 側 圧 力		2.5~400kPa	
二 次 側 圧 力		(A)0.5~1.4kPa (B)1.2~3.3kPa (C)3.0~8.0kPa (D)7.0~20kPa	
適 用 温 度		5~60°C	
弁前後の最小差圧		2.0kPa	
最大減圧比		400:1	
二次側圧力検出方法		外部検出 ※2	
最小調整可能流量		1.2m ³ /h(標準状態)(15A~25A)、10.0m ³ /h(標準状態)(32A~50A)	
材 質	弁 箱	ねずみ鋳鉄	ステンレス鋳鋼(SCS14)
	弁 座		ステンレス鋼
	弁 体		ステンレス鋼
	デ ィ ス ク		合成ゴム ※3
	弁 棒		ステンレス鋼
	ダイヤフラム		合成ゴム ※3
接 続		JIS 10K FFフランジ	

※1. その他の流体は、お問い合わせください。

※2. GD-400用外部検出用導管(φ8-2m:銅製)及び継手は、同梱されています。
(ただし、GD-400SS用はお客様にてご用意ください。)

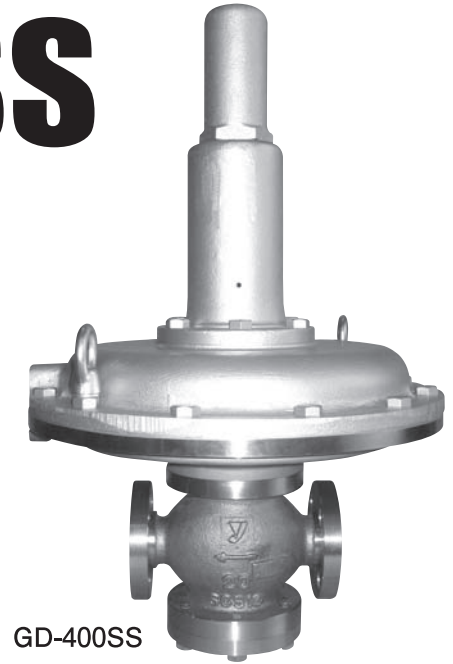
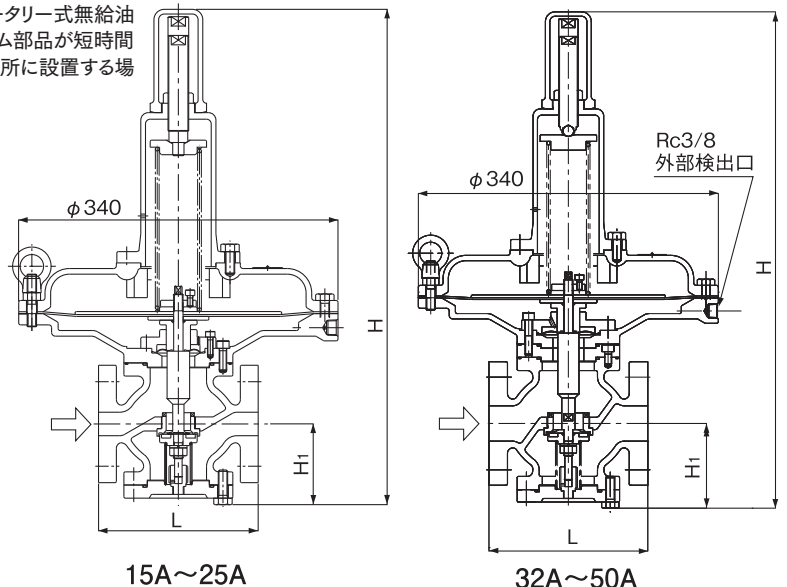
●オイルフリーコンプレッサー(ターボ形圧縮機や容積型圧縮機(ロータリー式無給油タイプ))によるドライエアーの空気圧システムにて使用する場合、ゴム部品が短時間で著しく劣化する事があります(オゾンクラックの発生)。このような場所に設置する場合はお問合せ下さい。

※3. ゴム類FKM(バイトン)仕様も製作します。

■ 寸法及び質量

呼び径	L	H ₁	H	質量(kg)
15A	166	86	526	29.0(32.0)
20A	170	86	526	29.0(32.0)
25A	170	86	526	30.0(33.0)
32A	180	96	561	32.0(34.0)
40A	180	96	561	32.0(34.0)
50A	180	101	561	33.0(35.0)

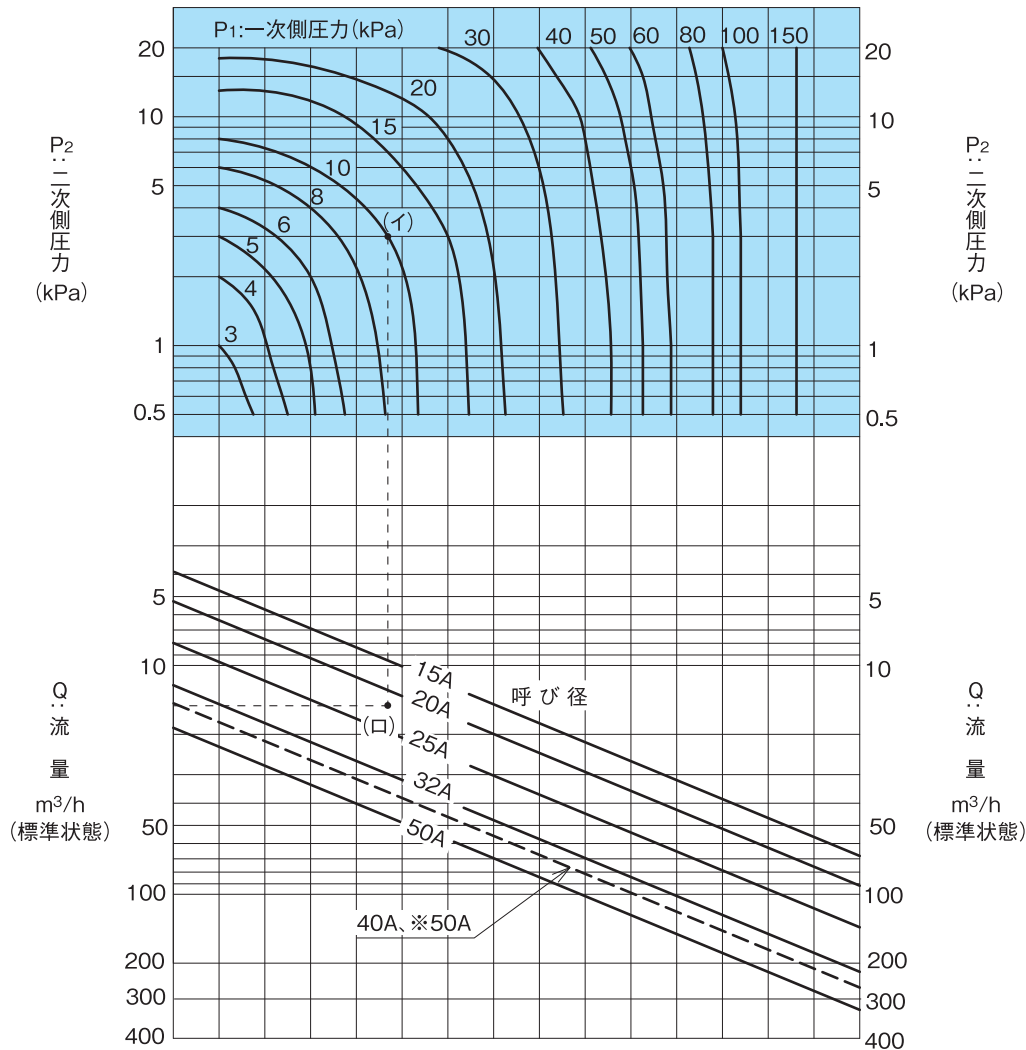
※ ()内は、GD-400SSの数値です。



GD-400SS

■ GD-400型減圧弁 呼び径選定図表

一次側圧力2.5kPa以上200kPa未満の呼び径選定表(流体は空気20℃の場合)



注) ※50AはFKM仕様の場合は。

[例題]

一次側圧力10kPa、二次側圧力3kPa、流量15m³/h(標準状態)の減圧弁に対する呼び径選定方法は、一次側圧力10kPaと二次側圧力3kPaとの交点(イ)を求め(イ)より垂直に下がり、流量15m³/h(標準状態)との交点(ロ)を求めます。交点(ロ)は呼び径20Aと25Aの間にあり、大きい方を選び25Aが求める呼び径です。

※二次側配管抵抗等を考慮し、使用する流量は10~20%の安全率(余裕)をお取りください。

表1. 一次側圧力200kPa以上400kPa以下の呼び径選定表

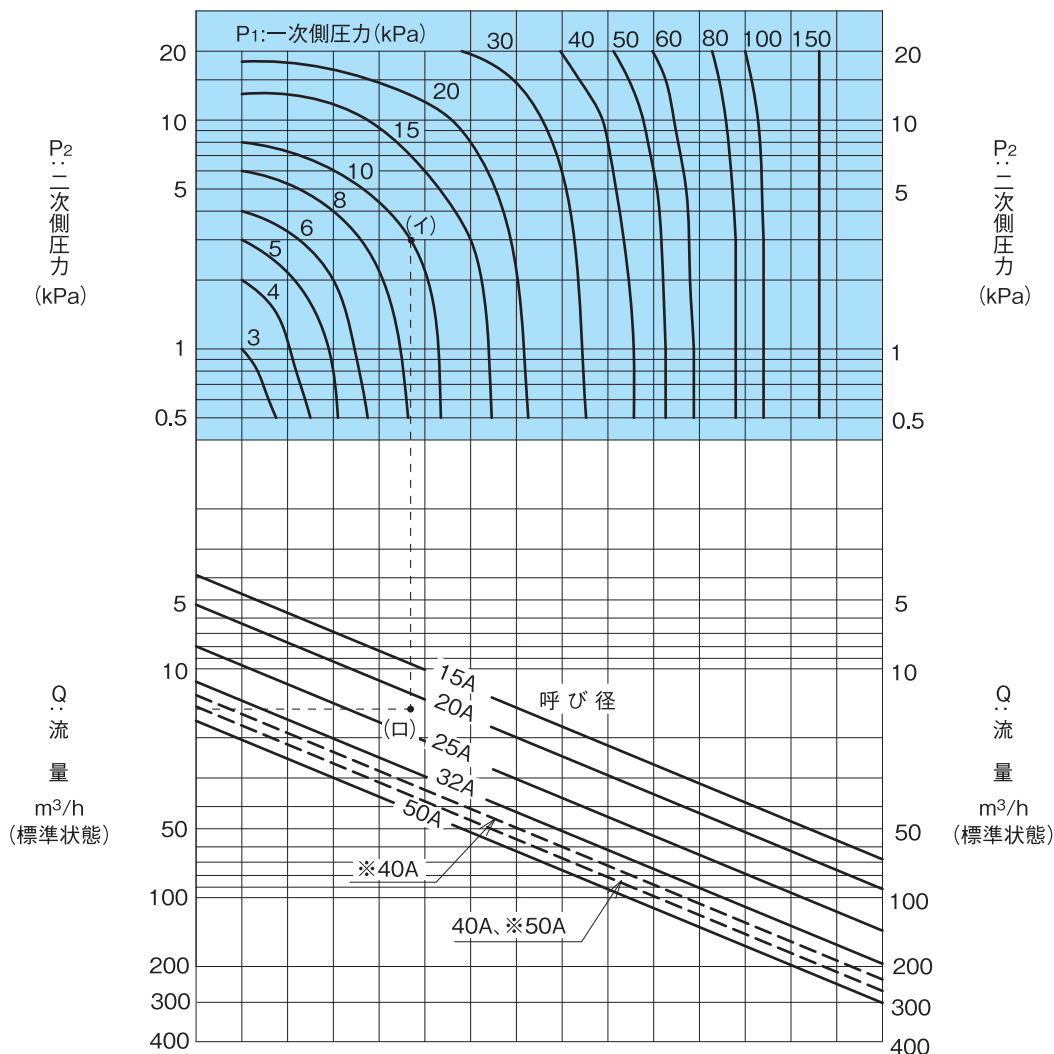
呼び径	一次側圧力(kPa)	定格流量(m³/h{標準状態})	
		二次側圧力(kPa)	
		0.5以上4未満	4以上20以下
15A	200以上400以下	60	60
20A	200以上300未満	90	90
	300以上400以下	90	120
25A	200以上300未満	120	120
	300以上400未満	120	150
	400	120	190

呼び径	一次側圧力(kPa)	定格流量(m³/h{標準状態})	
		二次側圧力(kPa)	
		0.5以上4未満	4以上20以下
32A	200以上300未満	200	250
	300以上400以下	200	300
40A	200以上300未満	250	300
	300以上400以下	250	350
50A	200以上300未満	350【300】	400【350】
	300以上400以下	350【300】	450【400】

※【 】はFKM仕様の場合は。

1 減圧弁 ■ GD-400SS型減圧弁 呼び径選定図表

一次側圧力2.5kPa以上200kPa未満の呼び径選定表(流体は空気20℃の場合)



注) ※40A、※50AはFKM仕様の場合です。

[例題]

一次側圧力10kPa、二次側圧力3kPa、流量15m³/h(標準状態)の減圧弁に対する呼び径選定方法は、一次側圧力10kPaと二次側圧力3kPaとの交点(イ)を求め(イ)より垂直に下がり、流量15m³/h(標準状態)との交点(ロ)を求めます。交点(ロ)は呼び径20Aと25Aの間にあり、大きい方を選び25Aが求める呼び径です。

※二次側配管抵抗等を考慮し、使用する流量は10~20%の安全率(余裕)をお取りください。

表1. 一次側圧力200kPa以上400kPa以下の呼び径選定表

呼び径	一次側圧力(kPa)	定格流量(m³/h{標準状態})	
		二次側圧力(kPa)	
		0.5以上4未満	4以上20以下
15A	200以上400以下	60	60
20A	200以上300未満	90	90
	300以上400以下	90	120
25A	200以上300未満	120	120
	300以上400未満	120	150
	400	120	190

呼び径	一次側圧力(kPa)	定格流量(m³/h{標準状態})	
		二次側圧力(kPa)	
		0.5以上4未満	4以上20以下
32A	200以上300未満	200	250
	300以上400以下	200	300
40A	200以上300未満	225	275
	300以上400以下	225	325
50A	200以上300未満	325【275】	375【325】
	300以上400以下	325【275】	425【375】

※【 】はFKM仕様の場合です。